

地域を支える 変える 高知大 10

2024年 創立75周年

# 朝倉城 元親が巨大要塞に



戦国時代、今の高知大学朝倉キャンパスの西側にあった山城「朝倉城」は、県史跡に指定されているものの、全体像は不明な点が多い。その謎を解明するため、発掘調査の中心になっているの

が人文社会科学部で考古学が専門の宮里修准教授(50)。「長宗我部元親が考えられないほどの労力を費やし、大きな城に造り変えた可能性がある」と指摘する。

## 発掘調査 歴史の謎を追う

朝倉城は、現在の本山町の国人領主だった本山茂宗が1520年ごろに築いた拠点の城郭です。土佐国の覇権を巡り、高知平野に進出してきまなまま残されており、地元大学が取り組む調査・研究対象としてふさわしいと考えました。一級史料である「長宗我部地検帳」も活用できます。

人文社会科学部 宮里修准教授



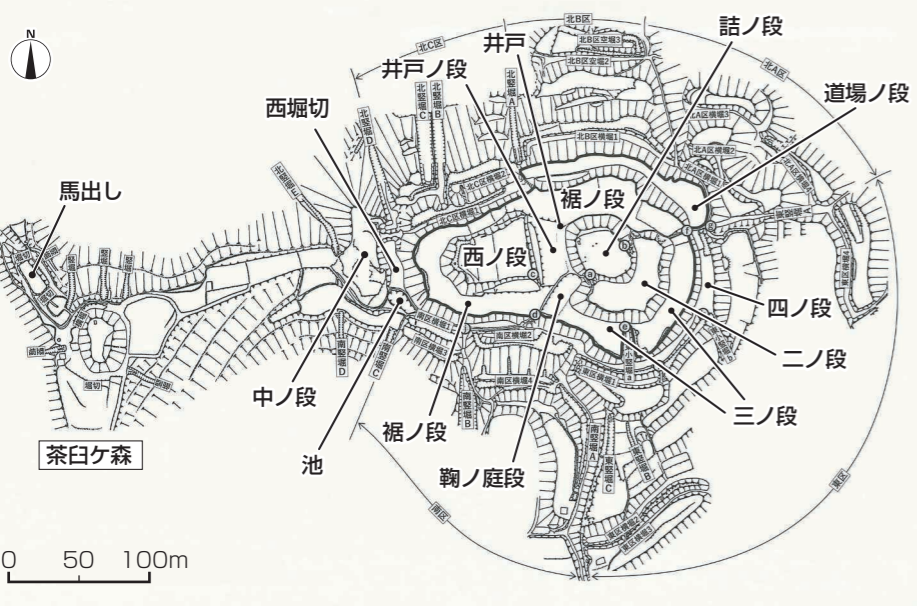
↑朝倉城の発掘調査を行う宮里修准教授。詰ノ段へ続く切り通しを歩く  
→城内にある井戸の跡  
→城から見た東側の眺め。市街地が一望できる(写真はいずれも高知市朝倉内)



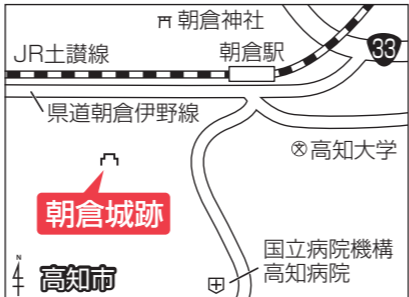
出した石積みを実測する学生



朝倉城跡については、堀や土塁などの施設の配置を示す縄張り図がいくつもありました。これらで調査で、曲輪の各所で大規模な造成の痕跡が見つかりました。朝倉城は16世紀中ごろに大型・複雑な山城として大規模に築かれたことが分かります。山城は一般的に、戦闘規模や時代背景に応じて改築され、構造が変化するケースが多くなります。朝倉城の場合も、本山茂宗が城主だった時期と、長宗我部元親が土佐国を統一した時期では、城に求められた機能が異なり、元親が朝倉城を奪った後、さらに西側の敵対勢力への備えとしてより強固なものにしたと考えられています。ものすごくエネルギーを費やして改築しており、城郭の範囲は東西



長宗我部時代の朝倉城の全体図



本丸にあたる「詰ノ段」には、L字形の曲輪が複数付設されていること、堀切によって分断された大型の曲輪が並立することなど、長宗我部氏の本城である岡田城に類似している部分も多く確認されました。元親による改修で城の構造が複雑に変化した様子うかがえます。



井戸ノ段では堀を埋めて平場を拡張した箇所が確認されました。長宗我部時代の城の拡大に関わる改築と考察しています。

その元親が土佐を統一したのは1575年。朝倉城は、それ以前に敵に対する最前線ではなく、たまたま役割を終えたと考えられています。岡田城にあった石垣や瓦などの痕跡は見られません。

建物の痕跡はまだ見つかっていませんが、調査を進めると、どこに何が形成され、何のために、どの時代にそれが造られたものか浮かび上がってくると思います。調査では、16世紀の土器や青磁なども出土しました。出てきた物を歴史の脈絡のどこに入るかを考え、積み重ねた類例からひとつひとつ比較していく。地味で時間のかかる作業ですが、小さな発見の積み重ねが核心に近づくと、張り合いがあります。

一緒に調査する学生、協力いただいた郷土史家や保存会の方々と、その興奮を共有できるのも魅力です。今後も調査を継続し、全体像をさらに明らかにしたいと思っています。

### 絶賛活動中

### 来月3、4日 学祭来て

#### 第73回黒潮祭実行委員会

私たちは高知大学の大学祭「黒潮祭」の実行委員会です。11月3、4日の開催に向けて、27人の精鋭で春から準備を進め、全員名刺を持って社会人顔負けに協賛企業を探しました。

73回目となる今回は、4年ぶりにコロナによる制限なし。学内での食べ物調理も復活し、学生がメインストリートに出店。焼きそばや綿あめを販売します。

テーマは「wanderlust」。「旅行願望」を意味するドイツ語で、前に進む思いを込めました。コロナ前の学祭を知らない僕たちですが、アフターコロナの学祭をつくる気概で取り組んでいます。



初の試みとして、屋外ステージを設置。今夏のおさこい祭りで銀賞を受賞した「TACYON」、雨のため高知大演舞場で踊れなかった「夏帰鳥」などが出演します。県内の高校生の音楽パフォーマンスもあります。

今年6月に学生と地域のコロナイベントを行った実行委員会のメンバー(高知市の中央公園)

ティラノサウルスの着ぐるみレースは参加者を募集中。声優の小野大輔さんや、お笑い芸人「ラバーガール」のステージもあります。ぜひ訪れて高知大ファンになってください!!  
(長尾哲汰=人文社会科学部2年)

### 推しスポット

### 金曜のハンバーグ 楽しみに

#### たきたて弁当

黄色い大きな看板が目印で40年以上、同じ場所で愛されるお店です。今は2代目店主の片岡京子さん(78)が切り盛り。引退を考えた創業者の女性と知り合いで声が掛かり、61歳で引き継いだそう。

地域住民や学生ら常連さんの他に、野球や柔道大会関係者も利用。200食を超える発注があった時は、高知大の学生バイトが午前3時から仕込みに急ぎよ助っ人に入ったそう。片岡さんも「学生は頭がえいき、動きもえい。うんと助かりまし



手作りハンバーグ入りの日替わり弁当をアピールする片岡京子さん(高知市曙町1丁目)

たと太鼓判の活躍だったようです。

メニューは約30種。とり井、とんかつ弁当など定番に加え、焼きめし(500円)も人気。さらに金曜の日替わり弁当(650円)は、秋～春限定で合いびき肉にタマネギを混ぜ込んだ手作りハンバーグ入り。優しい味に根強いファンがいるそうで、今年は27日から販売開始。ぜひ一度、足を運んでください。

高知市曙町1丁目10の17、午前10時～午後2時、日曜祝日休み、電話088-844-4947。  
(学生広報スタッフ・藤沢采加=人文社会科学部3年)